

ほっかいどう

北海道における

しょう

ひと

障がいのある人のための

ふくし けい かく

福祉計画について

ほっかいどうほ けんふくしぶ ふくしきょく しょう しゃ ほけんふくしか
北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

きょう せつめい
今日説明すること

- ほっかいどうしょう しゃけいかく
○ 北海道の障がい者計画とは
- だい きけいかく いま けいかく
○ 第3期計画(今の計画)について
- だい きけいかく つぎ けいかく
○ 第4期計画(次の計画)について
- これからのスケジュール

ほっかいどう しょう しゃけいかく 北海道の障がい者計画

きぼう すべ しょう しゃ
希望する全ての障がい者が

あんしん ちいき く しゃかい じつげん
安心して地域で暮らせる社会の実現

ほっかいどう しょう しゃきほんけいかく 北海道障がい者基本計画

- しょうがいしゃきほん ほう だい じょうだい こう
● 障害者基本法第11条第2項
さだ と どう ふ けん しょうがいしゃ けいかく
に定める都道府県障害者計画
- しょう しゃ しさく かん
● 障がい者の施策に関する
きほんてき けいかく
基本的な計画

ほっかいどうしょう ふくしけいかく 北海道障がい福祉計画

- しょうがいしゃ そうごう しえん ほう だい じょう
● 障害者総合支援法第89条
だい こう さだ と どう ふ けん しょうがい
第1項に定める都道府県障害
ふくしけいかく
福祉計画
- しょうがいふくし そうだん し
● 障害福祉サービスや相談支
しえんどう けいかくてき ていきょう
援等が計画的に提供されるた
めの実施計画
じつし けいかく

ほっかいどう しょう しゃけいかく 北海道の障がい者計画

- きぼう しょう ひと あんしん
希望する障がいのある人すべてが安心

ちいき
して地域でくらすことをめざしています。

- けいかく
2つの計画があります。

しょう しゃきほんけいかく しょう ふくしけいかく
障がい者基本計画と障がい福祉計画です

ほっかいどう しょう しゃけいかく
北海道の障がい者計画

- しょう ふくしけいかく
○ 障がい福祉計画は、

ひつよう
どのくらいサービスが必要か、

しさく ねんごと
どんな施策をすすめるのか、3年毎につくります。

- いま しょう ふくしけいかくだいさんき
○ 今の障がい福祉計画(第3期)は、

らいねんがっ お つぎ けいかく
来年3月で終わるので、次の計画をつくります。

へいせい ねんど ねんど
平成27年度から29年度までのものです。

第3期障がい福祉計画の概要

《数値目標》

I 福祉施設の入所者の
地域生活への移行

II 入院中の精神障がい者
の地域生活への移行

III 福祉施設から一般就労
への移行

〈基本方針〉

- 1 相談支援体制の充実
- 2 障がい者の地域生活への移行
- 3 精神障がい者の退院の促進
- 4 就労支援の充実
- 5 ライフサイクルを通じた連携した
支援
- 6 医療を必要とする在宅障がい児
(者)への支援
- 7 権利擁護の推進
- 8 共生型事業の推進
- 9 サービス基盤の地域間格差の縮小
- 10 障がい児支援の充実
- 11 災害に備えた地域づくりの推進

だい き しょう ふくし けいかく がいよう 第3期障がい福祉計画の概要

- けいかくすす ほうこう
計画を進めるためのおよその方向として

はしら
11の柱をたてています。

- けいかくすす
計画がどのくらい進んだかわかるよう、

すうじ もくひょう き
数字の目標を3つ決めていきます。

だい き けいかく きほんほうしん
第3期計画の基本方針①

そうだんしえんたいせいじゅうじつ

1 相談支援体制の充実

こま そうだん まどぐち みちか

困ったときに相談できる窓口が身近なところに
できるようにします。

しょう しゃ ちいきせいかつ いこう
2 障がい者の地域生活への移行

しせつ く ひと きぼう き ちいき く
施設で暮らしている人の希望を聞いて、地域で暮

てだす
らすための手助けをします。

だい きけいかく きほん ほうしん 第3期計画の基本方針②

せいしんしょうがいしゃたいいんそくしん

3 精神障がい者の退院の促進

びょうき よ ちいき く にゆういんつづ

病気が良くなったのに、地域で暮らせないため、入院を続けて

ひと たいいん ちいき く てだす

いる人がいるので、退院して、地域で暮らすための手助けをします。

しゅうろうしえんじゅうじつ

4 就労支援の充実

しょう ほんにん きぼう とくい み

障がいがあっても、本人の希望や得意なところを見ていきいきと

はたら おうえん
働くことができるよう、みんなで応援します。

だい きけいかく きほん ほうしん 第3期計画の基本方針③

5 ライフサイクルを通じた連携した支援

こ とき おとな はたら としよ
子どもの時から、大人になって働いてお年寄りになるまで、
き め おな てだす そうだん
切れ目なく同じような手助けができるよう、相談やサービス
じぎょうしょ れんらく きょうりよく
の事業所が連絡をとりあって、協力します。

6 医療を必要とする在宅障害児(者)への支援

いえ く ひと いしゃ かんごし
家で暮らしている人は、お医者さんにみてもらうことや看護師さん
ひつよう ひと しょう あ てだす
のケアが必要な人がいるので、それぞれの障がいに合った手助け
をします。

だい きけいかく きほん ほうしん
第3期計画の基本方針④

けんりようご すいしん
7 権利擁護の推進

ほっかいどう しょう しゃ じょうれい どうない しょ
北海道には、障がい者のための条例があり、道内14カ所の

しょうがいしゃく ちいき いいんかい
「障害者が暮らしやすい地域づくり委員会」があります。

く さべつ ぎゃくたい そうだん かいけつ
暮らしづらいことや差別、虐待について相談し、解決できるように

はな
話しあいます。

きょうせいがたじぎょうのすいしん
8 共生型事業の推進

ほっかいどう ひろ じぎょうしょ とお はな
北海道は広くて、事業所があっても遠く離れていることがあります。

おな まち とし じぎょうしょ きょうりよく ちか
同じ町にあるお年よりの事業所などと協力して、近くでサービスを

う
受けられるようにします。

だい き けいかく きほん ほうしん 第3期計画の基本方針⑤

きばん ちいきかんかくさ しゅくしょう

9 サービス基盤の地域間格差の縮小

ひるまかよ

す

ちいき

昼間通うところやグループホームなどの住むところは、地域によって

さ

く

あるところとないところがあり、差があるので、どこに暮らしても

ひつよう

う

必要なサービスが受けられることをめざします。

しょう じしえん じゅうじつ

10 障がい児支援の充実

はったつ

こ

しょう

こ

発達がおそい子どもや、障がいがある子どものためのサービスが、

りよう

しっかり利用できるしくみにします。

だい きけいかく きほん ほうしん
第3期計画の基本方針⑥

さいがい そな ちいき すいしん
11 災害に備えた地域づくりの推進

じしん おおあめ さいがい とき ひとり に
地震や大雨など災害の時に、一人で逃げられない

ひと ひと あ てだす
人に、その人に合った手助けができるよう、

ふだんから、れんらく と あ きょうりよく
ふだんから、連絡を取り合って、協力できる

ようい
ように用意します。

すうち もくひょう
数値目標

しせつ く ひと しせつ で ちいき く
1 施設で暮らしていた人が、施設を出て地域で暮らす

にゅういんちゆう せいしんしょう ひと びょういん で
2 入院中の、精神障がいのある人が、病院を出て

ちいき く
地域で暮らす

しゅうろう じぎょうしょ かよ ひと かいしゃ こうじょう
3 就労の事業所に通っていた人が、会社や工場で

はたら
働く

だい き しょう ふく し けい かく すう ち もくひょう
 第3期障がい福祉計画の数値目標

もくひょう 目標	こうもく 項目	きじゆん 基準値	もくひょう ち 目標値 (H26)
ふくしせつ にゆうしよしゃ ちいき せいかつ 福祉施設の入所者の地域生活 への移行	ちいきせいかついこうしゃすう 地域生活移行者数	12,055人 (H17.10.1)	3,563人
	げんしょうみこみすう 減少見込数		2,021人
にゆういんちゆう せいしんしやう しゃ ちいき 入院中の精神障がい者の地域 生活への移行	ねんみまんにゆういんしゃ へいきん 1年未満入院者の平均 たいいんりつ 退院率	72.2% (H20.6.30)	76.0%
	ねんいじょう さいいじょう 5年以上かつ65歳以上 たいいんしゃすう の退院者数	9人 (H23.6)	11人
ふくしせつから いっぱんしゆうろう 福祉施設から一般就労への移 行	もくひょう ねんど ねんかん いっぱん 目標年度の年間一般 しゆうろうしゃすう 就労者数	105人 (H17)	630人

だい き だい き しょう ふくしけいかく へいせい ねん ど すいしんじょうきょう
 第2期・第3期 障がい福祉計画(平成21～26年度)の推進状況

こ う 目 録	こ う 目 録	だい き 第2期			だい き 第3期				
		へいせい ねん ど 平成21年度 じっせき 実績	へいせい ねん ど 平成22年度 じっせき 実績	へいせい ねん ど 平成23年度 じっせき 実績	へいせい ねん ど 平成24年度 じっせき 実績	へいせい ねん ど 平成25年度 じっせき 実績 A	たっせいりつ 達成率 A/B	へいせい ねん ど 平成26年度 もくひょうち 目標値 B	
1	ち い きせいかつ いてい こうしや 地域生活移行者	12,055人 (平成17年度)	1,095人 (H21.10.1)	1,483人 (H22.10.1)	1,775人 (H23.10.1)	2,662人	2,840人	79.7%	3,563人
2	し せ つ にゆうしよ やすう 施設入所者数	12,055人 (平成17年度)	11,453人 (H21.10.1)	11,284人 (H22.10.1)	10,904人 (H23.10.1)	10,603人	10,424人	96.3% (B/A)	10,034人
3	ねんみまん にゆういんしや へいきんたい 1年未満入院者の平均退 いんりつ 院率	72.2% (平成20年度)	69.2%	72.0%	70.7%	69.8%	—	—	76.0%
4	ねんいじょう さいいじょう 5年以上かつ65歳以上の たいいんしや すう 退院者数	9人 (平成23年度)			9人	—	—	—	11人
5	ふくし しせつ いっぱんしゆうろう 福祉施設から一般就労へ いこう しゃ いちねんかん の移行者(一年間)	105人 (平成17年度)	301人	414人	535人	631人	858人	136.2%	630人
6	じゆさん しせつ どう こうちん 授産施設等における工賃	15,305円 (平成18年度)	15,760円	16,649円	18,560円	18,958円	18,846円 そくほうち (速報値)	61.6%	30,610円

もくひょう すいしんじょうきょう 目標と推進状況

しせつ く ひと しせつ で ちいき く
○施設で暮らしていた人が、施設を出て地域で暮らす

へいせい ねんがつにち しせつ く ひと にん
・平成17年10月1日 施設で暮らしていた人 12,055人

やく わり ひと しせつ で
・そのうち、約3割の人が施設を出て
ちいき く

地域で暮らすことをめざす 3,563人
あたら しせつ はいるひと →平成25年度 2,840人

・新しく施設に入る人がいるので
しせつ く ひと へ かず

施設で暮らす人が減った数は

2,021人
→平成25年度1,631人

もくひょう すいしんじょうきょう 目標と推進状況

しゅうろうじぎょうしょ かよ ひと かいしゃ こうじょう はたら
○就労事業所に通っていた人が、会社や工場などで働く

へいせい ねんどねんかんしゅうしょく ひと 105人
・平成17年度1年間に就職した人

ろくばいひと しゅうしょく 630人
・6倍の人が就職することをめざす

→平成25年度 858人

へいせい ねんど じゅさんじぎょうしょ こうちん 15,305円
・平成18年度の授産事業所の工賃

ばい こうちん 30,610円
・2倍の工賃をめざす

→平成25年度 18,846円

だい き しょう ふく しけい かく へい せい ねん ど じっ せき じょう きょう
第3期 障がい福祉計画(平成24～26年度)におけるサービス実績状況

こ う も く 項 目	へい せい ねん ど 平成24年度 み こ み り よ う 見込量 A	へい せい ねん ど 平成24年度 じっ せ き 実績 B	じっ せ き り つ 実績率 B/A	へい せい ねん ど 平成25年度 み こ み り よ う 見込量 C	へい せい ねん 平成25年 じっ せ き 実績 D	じっ せ き り つ 実績率 D/C	へい せい ねん ど 平成26年度 み こ み り よ う 見込量
1 し せ つ に ゆ う し ゃ え ん 施設入所支援	10,452人	10,379人	100.7% (A/B)	10,337人	10,248人	100.9% (C/D)	10,181人
2 き ょ う ど う せ い か つ え ん じ ゃ き ょ う ど う せ い か つ か い ご 共同生活援助・共同生活介護	7,984人	8,048人	100.8%	8,749人	8,726人	99.7%	9,551人
3 り ょ う よ う か い ご 療養介護	1,211人	1,321人	109.1%	1,229人	1,323人	107.6%	1,232人
4 せ い か つ か い ご 生活介護	16,185人	16,212人	100.2%	17,006人	16,779人	98.7%	17,829人
5 じ り つ く ん れ ん き の う く ん れ ん 自立訓練(機能訓練)	94人	26人	27.7%	97人	13人	13.4%	102人
6 じ り つ く ん れ ん せ い か つ く ん れ ん 自立訓練(生活訓練)	685人	474人	69.2%	716人	463人	64.7%	760人
7 し ゅ う ろ う い こ う し え ん 就労移行支援	1,780人	1,598人	89.8%	1,986人	1,665人	83.8%	2,257人
8 し ゅ う ろ う け い ぞ く し え ん が た 就労継続支援(A型)	1,973人	2,231人	113.1%	2,235人	3,034人	135.7%	2,520人
9 し ゅ う ろ う け い ぞ く し え ん が た 就労継続支援(B型)	10,246人	11,055人	107.9%	10,993人	12,233人	111.3%	11,784人
10 き ゃ た く か い ご じ ゅ う ど ほ う も ん か い ご こ う ど う え ん ご 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・ じ ゅ う ど し ょ う が い し ゃ と う ほ う か つ し え ん 重度障害者等包括支援	9,605人	8,956人	93.2%	10,560人	9,714人	92.0%	11,539人

サービスの利用状況

しせつにゆうしょ
○施設入所

へいせい ねんどみこ
平成26年度見込み 10,181人
→ 平成25年度 10,248人

○グループホーム

へいせい ねんどみこ
平成26年度見込み 9,551人
→ 平成25年度 8,726人

しゅうろういこうしえん
○就労移行支援

へいせい ねんどみこ
平成26年度見込み 2,257人
→ 平成25年度 1,665人

しゅうろうけいぞくしえん
○就労継続支援(A型)

へいせい ねんどみこ
平成26年度見込み 2,520人
→ 平成25年度 3,034人

しゅうろうけいぞくしえん
○就労継続支援(B型)

へいせい ねんどみこ
平成26年度見込み 11,784人
→ 平成25年度 12,233人

だい き ほっかいどうしょう ふくし けいかく
第4期北海道障がい福祉計画の

きほん てき かんが かつ
基本的な考え方について

だい き けいかく もくてき

第4期計画の目的

ほっかいどう

○ 北海道では、

しちょうそん

けいかく

市町村がつくる計画がうまくすすみ

しょう

ふくし

ひつよう

りよう

障がい福祉サービスが必要なだけ利用できて

ほうりつ き

しごと

法律に決められた仕事がしっかりできるよう

けいかく

計画をつくります。

(参考: 国指針に定める成果目標)

① 福祉施設の入所者の地域生活への移行

- ・ 25年度末入所者数の12%以上を移行、施設入所者数を4%以上減

② 入院中の精神障がい者の地域生活への移行

- ・ 29年度の入院後3ヶ月時点の退院率64%以上、1年時点退院率91%以上
- ・ 1年以上の在院者数を24年6月末時点から18%以上減

③ 地域生活支援拠点等の整備

- ・ 地域生活支援拠点等を29年度末までに各市町村又は圏域に1箇所以上整備

④ 福祉施設から一般就労への移行

- ・ 24年度の2倍以上移行、就労移行支援事業の25年度末利用者の6割以上増加等

だい きけいかく もくひょう
第4期計画の目標

1 施設で暮らしていた人が、施設を出て地域で暮らす

2 入院中の精神障がいのある人が、病院を出て地域で暮らす

ちいき あんしん く つづ てだす
3 地域で安心して暮らし続けることができるよう手助けする

センターをつくる

しゅうろう じぎょうしょ かよ ひと かいしゃ こうじょう はたら
4 就労の事業所に通っていた人が、会社や工場で働く

だい きけいかく めざ ほうこう

第4期計画の目指す方向

だい きけいかく と く

○ 第3期計画で取り組んできたことのほかに、

いえ く しょう ひと とし

家で暮らしている障がいのある人が、年をとってきたり、

しょう おも

障がいが重くなって、いろいろなことができなくなったり、

く おや な とき

いっしょに暮らしていた親が亡くなってしまった時でも、

ちいき つづ てだす め

地域でのくらしを続けていけるよう手助けすることに目をむけて、

しょう ひと かぞく あんしん く

障がいのある人と家族が安心して暮らすことができるまちを

つくっていくことに^と取り組みます。

だい き けいかく きほん ほうしん
第4期計画の基本方針①

そうだんしえんたいせい じゅうじつ
1 相談支援体制の充実

しょう しゃ ちいきせいかつ いこう
2 障がい者の地域生活への移行

せいしんしょう しゃ たいいん そくしん
3 精神障がい者の退院の促進

だい き けいかく きほん ほうしん 第4期計画の基本方針②

ちいきせいかつ けいぞくむ しえん 4 地域生活の継続に向けた支援

いえ く しょう ひと とし
家で暮らす障がいのある人が年をとったり、

しょう おも く
障がいが重くなったり、いっしょに暮らして

おや な あと ちいき く
いた親が亡くなった後でも、地域での暮らし

をつづけていけるようなしくみをつくります。

だい きけいかく きほん ほうしん
第4期計画の基本方針③

ちいきせいかつ けいぞく む しえん
4 地域生活の継続に向けた支援

たとえば

ふ
・グループホームやアパートを増やすこと

かぞく はな しゅくはく たいけん
・家族と離れて宿泊する体験

かぞく にゅういん しょう ひと
・家族が入院したときなど、障がいのある人を
あずかってくれるところ

しょう あ てだす
・いろいろな障がいに合った手助けができること

そうだん こま かんが
・いつでも相談できて、困ったときにいっしょに考えて
くれるコーディネーターさんがいる

だい きけいかく きほん ほうしん
第4期計画の基本方針④

しゅうろうしえん じゅうじつ
5 就労支援の充実

つう れんけい しえん
6 ライフサイクルを通じた連携した支援

いりょう ひつよう ざいたくしょうがいじしゃ しえん
7 医療を必要とする在宅障害児(者)への支援

けんりようご すいしん
8 権利擁護の推進

だい き けいかく きほん ほうしん
第4期計画の基本方針⑤

きょうせいがたじぎょう すいしん
9 共生型事業の推進

きばん ちいきかんかくさ しゅくしょう
10 サービス基盤の地域間格差の縮小

しょう じしえん じゅうじつ
11 障がい児支援の充実

さいがい そな ちいき すいしん
12 災害に備えた地域づくりの推進

これからのスケジュール

- 平成26年7月 だい かいしやう 第1回障がい者施策推進審議会
- 平成26年8月 ぶかい 部会(地域移行、就労など6つ) ちいきいこう しゅうろう
- 平成26年9月 かしよ タウンミーティング(9カ所で意見交換会) いけんこうかんかい
- 平成26年12月 だい かいしんぎかい 第2回審議会(計画の素案について話し合い) けいかく そあん はなしあい
- 平成26年12月 けいかくあん パブリックコメント 計画案について意見募集 いけんぼしゅう
- 平成27年1月
- 平成27年2月 だい かい しんぎかい 第3回審議会(計画案について話し合い) けいかくあん はな あ
- 平成27年3月 だい 第4期計画を決める き けいかく き

さいごに

- わからなかったこと、気^きになることは

えんりよ ^き
遠慮なく聞いてください。

- こうなったらいいなと思う^{おも}ことあれば、

いけん
どんどん意見^{いけん}としておしえてください。

ありがとうございました。